

本プレスリリースに記載されている情報(本邦未承認情報を含む)は、 Bristol Myers Squibb に関連する最新情報をステークホルダーの皆様にお知らせするものであり、医薬品のプロモーションや宣伝・広告を目的とするものではありません。

2026年1月14日
ブリistol・マイヤーズ スクイブ株式会社

ブリistol・マイヤーズ スクイブ
CAR T 細胞療法を経験した患者さんの声を届ける
“パペットムービー”『生きる形、CAR TALK』公開

ブリistol・マイヤーズ スクイブ株式会社 (BMS) は、このたび、CAR T 細胞療法を経験した患者さん・ご家族、医療従事者が率直な思いを語る初のパペット動画『生きる形、CAR TALK』を公開しました。

本動画は、CAR T 細胞療法を検討されている患者さんやご家族が抱える不安や悩みに寄り添い『ひとりではない』と感じられる安心感を届けることを目指しています。治療経験者のリアルな声を通じて、治療選択や医療従事者とのコミュニケーションの参考となる情報を提供し、つながりの場を創出していきます。<https://www.bms.com/jp/patient-and-caregivers/cartalk.html>



『生きる形、CAR TALK』では、出演者が「パペット」として登場するユニークな演出を採用。顔を出すことでは語りにくい心の奥にある思いや体験も、パペットを介することで自然に表現できるよう、そんな願いが込められています。また、会話の内容に合わせてパペットが表情豊かに動き、出演者の気持ちをよりリアルに伝える視覚的な演出が加わっています。

CAR T 細胞療法は、患者さん自身の T 細胞に特別な遺伝子 (CAR) を加えることで、がんと闘う力を持たせ、再び体内に戻す革新的な治療法です。一度の治療で、持続的な効果や生存期間の延長の可能性などが報告されており、治療の選択肢が限られた患者さんにとって大きな希望となっています。その一方

で、治療を受けられる施設や情報が限られているため、不安や疑問を抱える方も少なくありません。『生きる形、CAR TALK』は、実際に治療を受けた方やご家族、医療従事者のリアルな声を通じて、治療選択や周りの方とのコミュニケーションなど、患者さんの新たな一歩を後押しするサポートコンテンツです。

MC は、NPO 法人がんノート代表理事の岸田徹さん。20代で2度の希少がんを経験し、多様な治療を受けた自身の体験も元に、出演者に寄り添いながらリアルな声を丁寧に引き出しています。がん経験者の想いや背景に丁寧に向き合い、時にユーモアを交えながら発信してきた岸田さんならではの進行が、本動画に温かみをもたらしています。

岸田さんからのコメント：

「今回の動画ではパペットという形だからこそ、出演者の皆さんが“胸の奥の想い”を自然体で語れる空気が生まれたと思います。私自身も、普段は“人間の姿”ですが、パペットを通じて、みなさんと治療の経験や悩みを同じ目線で話すことができました。視聴者の皆さんには、パペットたちの温かいやりとりを通じて治療を考える際のヒントを見つけるなど、『ひとりじゃない』と感じていただけたら嬉しいです。」

現在、3つのエピソードが公開中で、今後も新エピソードを追加予定です。ぜひご視聴いただき、治療を検討される方やご家族の支えとなれば幸いです。

詳細・最新情報は公式サイトにてご案内しています。

<https://www.bms.com/jp/patient-and-caregivers/cartalk.html>



公開動画

ep.1「患者さんと医師で、ともに挑んだ CAR T 細胞療法」

多発性骨髄腫の治療として CAR T 細胞療法を経験された当事者・のっこさん、主治医の塚田先生。お二人の穏やかな関係性から紡がれるエピソードをうかがいました。



当事者：のっこさん



主治医：塚田先生
(日本赤十字医療センター 血液内科)

ep.2「出会いのキッカケは CAR T 細胞療法」

多発性骨髄腫の治療として CAR T 細胞療法を経験された当事者・マーシーさん、濾胞性リンパ腫の治療として CAR T 細胞療法を経験されたトムさん。同じ沖縄県在住で、同時期に治療に挑まれたお二人にお話をうかがいました。



当事者：マーシーさん



当事者：トムさん

ep.3「夫婦の絆と CAR T 細胞療法」

悪性リンパ腫の治療として CAR T 細胞療法を経験された当事者・マコさん、一番近くで支えてこられたパートナーのアサさん。病と向き



当事者：マコさん



ご家族：アサさん

合ったご本人とそれを支えるご家族の、互いを想う気持ちをうかがいました。

岸田徹さん(MC) プロフィール

NPO 法人がんノート代表理事。25 歳で希少がんである胚細胞腫瘍（胎児性がん）を経験し、抗がん剤治療および複数回の手術を受ける。再発・治療を経て現在は寛解。がん経験者の立場から、がんに関する啓発・教育分野で幅広く活動している。

詳細は、gannote.com、[Facebook](#)、[YouTube](#) をご覧ください。



MC：岸田さん

ブリストル マイヤーズ スクイブについて

ブリストル マイヤーズ スクイブは、深刻な病気を抱える患者さんを助けるための革新的な医薬品を開発し、提供することを使命とするグローバルバイオフーマ企業です。

詳細は、bms.com/jp、[LinkedIn](#)、[Facebook](#)、[YouTube](#)、[Instagram](#) をご覧ください。